

公益社団法人日本動物学会中国四国支部平成 25 年度総会議事録

平成 25 年 5 月 12 日（日） 11：30～

徳島大学工学部共通講義棟 K203 室

○ 議長選出

真壁和裕氏が選出された。

○ 地元県委員挨拶

真壁和裕氏から挨拶があった。

○ 支部長挨拶

尾崎浩一支部長から挨拶があった。

○ 若手研究者優秀発表賞の表彰

真壁和裕氏による選考経過の説明の後、尾崎浩一支部長より 1 名の受賞者に賞状が授与された。受賞者と演題は以下の通りであった（敬称、共著者略）。

別所裕紀（広島大・院総科・脳科学）

「ニワトリで発見した新規神経ペプチドはヒスタミンニューロンに発現している」

○ 報告事項

1. 理事報告

尾崎浩一支部長より、平成 24 年度社団法人日本動物学会第 2 回理事会、平成 24 年度公益社団法人日本動物学会第 1 回、第 2 回理事会の報告があり、全国大会の登録システムの変更や ZS 冊子無料送付の廃止、国際動物学会大会（2016 年：沖縄）などについて説明があった。また、各種委員会に対して各支部から委員を推薦することで各支部の意見を吸い上げる体制となったことについての説明があった。学会大会は東北、関東、九州の順で行われることが報告された。

2. 各種委員会報告

本部の各種委員会について、支部推薦委員（将来計画、教育、国際交流、広報、図書出版、男女共同参画）からの報告を石田秀樹庶務幹事がまとめて報告した。植木龍也広報担当委員から、研究等が報道された場合は広報委員まで連絡してもらいたいとの依頼があった。

3. 庶務幹事報告

石田秀樹庶務幹事より平成 25 年度支部役員、支部会員数について報告があった。平成 25 年 5 月 7 日現在の支部会員数は 305 名（前年度比 9 名増）であった。

4. 会計幹事報告

森下文浩会計幹事より、平成 24 年度支部会計決算（社団法人分：平成 24 年 1 月 1 日から 6 月 30 日まで）および平成 24 年度決算見込み（公益社団法人分：会計年度が 7 月 1 日から 6 月 30 日までに変更となったため）について報告があった。

5. 会計監査報告

花田秀樹会計監査より、平成 24 年度支部会計決算（社団法人分）は適正な会計処理が行わ

れていることを確認したとの報告があり、平成24年度決算は了承された。

6. 県委員・企画委員報告

1) 県例会開催について

以下の5件の活動報告があった。

広島県例会（平成25年3月2日）、高知県例会（土佐生物学会2012年度例会）（平成24年12月9日）、愛媛県例会（平成24年12月15日）、山口大学理学部サイエンスワールド2012（平成24年10月28日）、岡山県例会（平成24年7月19日）を実施した。

○ 審議事項

1. 次年度支部大会開催地について

平成26年の支部大会を岡山県で開催することが石田秀樹庶務幹事より提案され、承認された。

2. 本年度支部予算案について

平成25年度支部会計予算について、森下文浩会計幹事より平成25年7月1日～平成26年6月30日の支出計画案が提出され、原案通り承認された。この予算案では、支出の部において、県例会の援助金を例年通りの定額配分に加え、例会等開催県からの要求に応じて実績配分することで予算総額を増額したい旨の説明があり、承認された。

3. 支部規定の改訂について

動物学会が公益社団法人化したことに伴って定款、定款細則、支部規程を変更したため、これに沿った形で中国四国支部の支部規定を改定する改定案と申し合わせ事項が示され、原案通り承認された。

○ 次年度支部大会開催県委員挨拶

坂本浩隆岡山県企画委員（岡山県委員代理）より挨拶があり、平成26年度の支部大会は5月第2週に開催する予定（開催場所は未定）である旨の報告があった。

以上